

平成27年 第3回（6月）定例会

第3回定例会は、6月2日から6月18日までの17日間の日程で開催されました。同定例会には、市長から平成27年度糸満市一般会計補正予算（第2号）などの議案17件及び報告2件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書等2件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

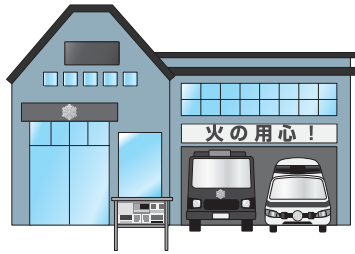
6月15日付、市長より追加議案の提出がありました。本案は、歳入歳出予算にそれぞれ7321万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ245億2395万円とするものです。補正の内容は次のとおりです。

平成27年度一般会計
補正予算（第3号）

平成27年度一般会計
補正予算(第2号)

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ4957万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ244億5074万円とするものです。補正の主な内容は次のとおりです。

・基金管理費(ふるさと応援基金積立金)	1335万円
・強い農業づくり交付金事業	1961万円
・観光協会支援事業	600万円
・真壁幼稚園舎改築事業	3613万円



・ 観光農園推進対策費
7321万円

糸満市職員定数条例の一部を改正する条例について

本案は、増大する救急車同等の出場要請に迅速で的確な対応をすること及び日常的に発令される非常招集の解消を図るため、消防職員の定数を51人から58人とするものです。

議**会**を傍聴してみませんか、どなたでも傍聴できます

9月定例会は、下記の日程で開催を予定しております。なお、都合により日程が変更になる場合があります。

傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所4階本会議場までお越しください。

傍聴するにあたっては、議事に支障を来しますので私語を慎み、携帯電話のマナーを守りましょう。本会議中は庁舎1階ロビーのテレビでも放映しています。

詳しくは市議会事務局まで。

(TEL 098-840-8100)



平成27年第4回（9月）定例会日程	
9月1日	開会、各議案の提案
9月2日 ～9日	委員会等
9月10日 ～15日	一般質問
9月16日	委員会採決
9月17日	議案整理
9月18日	委員長報告、採決

※土・日曜日は休み



第3回（6月）定例会において、

米満市観光農園内の
地域食材供給施設購入費の
予算（7,321万円）が可決されました。

一般会計補正予算
(第3号)



糸満市観光農園 地域食材供給施設（レストラン）

平成27年 第2回（5月）臨時会

第2回臨時会は、5月21日に開催されました。

同臨時会には、市長から平成27年度糸満市一般会計補正予算（第1号）などの議案3件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

本案は、地方税法等の一部を改正する法律が、平成27年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、糸満市税条例及び糸満市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正し、同日から施行する必要がある、議会を招集する必要があること、179条第1項の規定により専決処分を行ったので、同条第3項の規定により、これを報告し議会の承認を求められたものです。

専決処分の承認について
(糸満市税条例等の一部を
改正する条例)

平成27年度一般会計
補正予算（第1号）

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ30万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ244億116万円とするものです。補正の内容は次のとおりです。

・観光農園推進対策費 30万円



真栄里のロンドン杜公園

伝わっていない。記者会見を開くとか、広報紙に市長の取り組みをまとめた冊子をつくってみたいとか。

市長 今、月1回記者会見を行っている。我々が取り組んでいる防災行政については、しっかりと伝えていきたい。

市民健康部長 今回の改正点をコンパクトにまとめて小冊子をつくり、いろんな場で広報していきたい。

上原 ロンドン杜公園をぼうさいの丘公園に指定してほしいと取り上げてきたが、面積は8・3haで、規模が10haには足りないが、国・県と情報交換しながら、糸満市でも知恵を出してぼうさいの丘公園の整備をしてほしいと思う。

固定資産税の減免について

①実績について伺う。②本市における減免の要件を伺う。③市の減免規定の拡充を求める。

総務部長 ①平成26年度は生活保護によるものが50件、公共事業によるものが8件となっている。②(1)貧困により生活のため公私の扶助を受ける者の所有する固定資産、(2)公益のために直接専用する固定資産(有料で使用するものを除く)、(3)市の全部又は一部にわたる災害又は天候の不順により、著しく価値を減じた固定資産、(4)各号に定める者のほか、公益上の事由により特に必要があると認め



固定資産税のしおり

る固定資産、以上4項目に限り減免が適用される。③ほかの納税義務者との均衡を失しないよう考慮する必要があることから、他市の状況等を調査確認し、検討していきたい。

菊地 生活保護に準じるその他の生活困窮者も該当するかどうか。

総務部長 要綱の中で生活保護該当者、生活保護に準じる公的扶助を受ける者という2つの基準がある。

菊地 生活保護に準じる方について、市民税、固定資産税の減免制度があることを納付書と一緒に送って周知を図る必要もあると思うがどうか。

総務部長 今年度から納税通知書に減免制度についてお知らせを載せている。またそれとあわせて、ホームページにも載せてある。

電子黒板の導入について

電子黒板とデジタルテレビの機能性と利便性の違いを伺う。

教育委員会指導部長 デジタルテレビは主にデジタル教科書を活用した授業展開などのデータを映し出すものである。電子黒板は、画面の大きさ、拡大、縮小のしやすさ、直接パネルに書き入れることも可能で通常、書き込みができない教材やデジタルカメラの画像、DVDの映像にも書き込みが可能となり、生徒のわかりやすい授業の展開、理解を深めるには有効な手段と考える。

當銘 豊見城市の小学校を視察してきたが電子黒板を使うと、先生が子供に向き合う時間が多くなった、授業がスムーズにできる等、非常に素晴らしいものがあつた。いつかは



デジタルテレビを使った授業風景

全て電子黒板に変わっていくのではないかと話だったがそういう話はあらかう。

教育委員会指導部長 産業界、学識経験者、教育界も含めて国家戦略としての情報機器活用を中間報告としてまとめている。その流れによればそういう時代が来たと思っている。

當銘 早急に電子黒板を導入して、まずは島尻郡との足並みそろそろいうに頑張っている。それが、その決意を伺う。

教育委員会指導部長 電子黒板等を活用しての授業等の進歩については目覚ましいものがあると思っている。日々の授業展開に大いに貢献する機器として整備できないか検討していきたいと思う。

當銘 検討ではなく、ぜひ早急にやってみてほしい。

市政をただす

一般質問

平成27年第3回定例会では、6月10日、11日、12日、15日の4日間にわたり、15人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

なんぶトリムマラソンの競技開始時間について



金城 悟 議員

過去5年間の10キロと20キロの出場者数とスタートの時間を伺う。

企画開発部長 第23回大会、10キロが1472名、9時50分スタート、20キロが2041名、8時スタート。第24回大会、10キロが1456名、9時50分スタート、20キロが2273名、8時スタート。第25回大会、10キロが1453名、9時20分スタート、20キロが2381名、8時スタート。第26回大会、10キロが1288名、7時30分スタート、20キロが2263名、7時40分スタート。第27回大会、10キロが1280名、7時30分スタート、20キロが2307名、7時40分スタートである。

金城 過去の参加人数を比較しても、9時と7時30分のと



第27回なんぶトリムマラソン

きで差がある。スタート時間を8時に戻してはどうか。

企画開発部長 事務局も道路規制の関係で糸満警察署と協議をしたいという話を聞いていた。なるべく遅くしたいという意向は持っているようだ。

金城 ボランティアの方についても5時に来てTシャツの振り分けをしている。これについてどう思うか。

企画開発部長 朝が早いということとは懸念している。午前中で大きな大会は終わらせたという意向で早朝になっているところだ。いろいろな懸念材料があるが今後検討されていくと思う。

金城 うまく協議して8時に戻すようにお願いしたい。

防災行政について



上原 正次 議員

①県と並行して見直すとしてきた本市の防災計画の進捗状況と修正箇所を伺う。②真栄里ロンドン杜公園をぼうさいの丘公園として整備することについて、防災計画に盛り込むべきと提言したがその後について伺う。

市民健康部長 ①本年3月に見直し完了し、市役所各課、関係機関に配布しており、修正については地震・津波対策の技術的強化を行い、糸満市域に起こり得る災害想定に関する内容を追加した。また、災害予防計画、災害応急対策計画、災害復旧・復興計画を盛り込んでいる。②今回の見直しでロンドン杜公園を広域避難場所として指定を行った。上原 防災行政に關して市長の取り組みがなかなか市民に



早急な修繕が望まれる

建設部長 最初にやらなければいけないのは危険性の除去であり、それについては早急に行う。破損部分については、現地において打診テストを行い、その場で修繕できるものについては早い対応が可能である。新たに設置し改修する箇所については、予算状況を見ながら対応していきたい。

新垣 破損部分については、年度内がタイムリミットだと思ふ。その辺に向けて取り組んでいく姿勢が必要だと思ふがどうか。

建設部長 それに向けて段取り、手配等をしていきたい。

新垣 改修により子供たちの安心、安全な登校が確保できる。ぜひ進めていただきたい。

教育長 ①誘致については、平成28年度、市制45周年に当たり、市独自の記念事業として開催したい。②平成29年1月ごろを予定している。③市民の健康増進につながる。④にも、会員相互の親睦も図られ、自然とコミュニケーションが形成される効果が期待される。また、頑張る大人の姿を見せることによって、青少年の健



メイン会場となる西崎球場

全育成にもつながるものと考ええる。大会には県内外から多くの参加者が見込まれるので、本市のピアーアルはもちろんだ、地場産業の活性化等、経済効果も見込まれる。

玉村 私5年ぐらい前にこの大会に参加した。全国から78チームが参加し、河川敷の会場で一斉に試合があった。一日で終わるような大会だった。また、沖縄から初めての参加ということで大変歓迎された。この大会をぜひ糸満市に誘致して、還暦の人たちと交流したいと提案したところ、平成29年には開催されるとのことで大変うれしく思っている。大会が成功するようできる限りの協力をしたい。

文化・芸術振興条例の制定について

糸満市文化・平和・観光振興センターの建設と並行して、糸満市文化・芸術振興条例を制定する考えはないか。

教育長 当初、文化芸術振興基本法に準じて、糸満市文化芸術振興推進基本要綱を糸満市の文化振興委員会の意見を取り入れながら作成していた。しかし、内容が芸術文化の振興から伝統芸能の継承、発展文化財の保存と活用など、多種にわたるため本市の特性に応じた内容に改める必要性があるとの意見があり、文化芸術振興指針に改め、定めることにした。内容については、平成25年度に文化振興委員会に諮り各項目を精査、平成26年度の委員会で承認されたが、一部書式の変更等が必要となったため、今後については



糸満ハーレー歌大会

修正をかけた上で早い時期に教育委員会に諮り制定する予定である。

砂川 糸満市文化・平和・観光振興センターの建設にあわせて条例をという思いでいたが、年度内に指針ができ上がるということか。

教育委員会総務部長 8月に文化振興委員会にかけ、それを受けて9月に教育委員会の承認を得る予定で進めている。

砂川 案はでき上がったと認識しているか。

教育委員会総務部長 指針について案はでき上がっている。

砂川 指針で、文化芸術振興の取り組みが、実のあるものになっていくという方向づけをしっかりとしてほしい。

市民会館について



大田 守 議員

財源の確保について伺う。一括交付金で8割、市負担の2割は交付税で充当されるから実質1割の負担だと答弁され、各種の集会でも市民に答えているが、無理はないか。

企画開発部長 御質問の市民会館については、市民会館的機能を有する(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センターのことと思われるので、以後置きかえて答弁する。沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)の交付率は10分の8となっている。また、市町村負担となる10分の2にあっても、大半を起債、いわゆる借金で賄う予定である。また、後年度の普通交付税算定において、元利償還金、いわゆる借金返済の2分の1が基準財政需要額に算入されるため、最終的に実質1割の負担で建設が可能となる。今後の事業推進にあつては、市の財政負担を最小限にするよう交付金制度を活用していきたい。

大田 土地代を入れたら最大で約77億円、最小でも約54億円の事業だ。ことし本市に配分された一括交付金は9億3000万円程度だが、市民会館が完成するまで一括交付金は全てこの事業に使うのか。

副市長 糸満市の枠として配分された額以外に特別枠がある。いろんな方法を駆使して一括交付金の枠の確保を図り、市の負担を最小限にとどめていきたい。当然、市においては観光振興センターのみならず、教育の充実や子育て支援等多くの施策を講じていく。



観光振興センター建設予定地

①本市の公的施設における児童クラブ実施状況について。②市内小学校において児童クラブは設置可能か。③放課後教育・児童クラブ設置に対する教育委員会の認識を伺う。

教育長 ②余裕教室がある小学校において、教育活動を優先した教室配置にすることや、本来の教育活動に支障が生じないこと等を考慮し、対応については前向きに検討したい。

③共働きの家庭等の小1の壁を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験活動ができるような国の放課後子ども総合プランを踏まえ、関係部局と調整、連携していきたい。

福祉部長 ①児童クラブが公的施設を活用している件数は

放課後教育の充実・環境整備について



浦崎 暁 議員

5件、これらは保育所を活用している事例であり、市内児童クラブ全体の29・4%に当たる。本定例会に提案している「糸満市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例」において、真壁児童クラブが本市における学校敷地内に設置される初の事例となる。

浦崎 この条例は、ほかの市内小学校にも適用できるか。

福祉部長 場所については別表に定めるので可能と考える。

浦崎 保護者からすると、学校の中に児童クラブが設置されるの利便性、安全性が大きく担保される。保護者のニーズも非常に高い政策なので、教育委員会と担当部局との関係を密に実施してほしい。



真壁児童クラブ建設予定地

川尻上組線のガードパイプの改修について



新垣 安彦 議員

川尻上組線(まつの木保育園から白銀堂向け)のガードパイプは設置から数十年が経過し、塩害やさびなどで機能を果たしていないのが現状である。改修について伺う。

建設部長 当該路線の現場を確認したところ、ガードパイプが破損している箇所があった。現地における点検等を行った。破損の状況によっては撤去等による安全対策を早急に行う。改修工事については、予算状況を見ながら、今後検討していきたい。

新垣 ガードパイプは飛び出し防止のためのパイプだと認識している。現場を確認したが、箇所によつては全くガードパイプがないところもある。一日も早く修繕、改修をしていただきたいがどうか。



建てかえ計画のある第一市営住宅

慮した設計として、津波警報発令時の避難場所を4階屋上に確保している。また火災発生時の住民避難として、高齢者や幼児が避難できるようにバルコニーから避難階段へ通れるような工夫をしている。集会所についても団地内に計画をしている。

玉城 その後につくる4団地についても同じ内容か。

建設部長 今後の団地については、同じような全戸バリアフリーという計画である。屋上の避難場所についても立地、敷地の条件等を勘案しながら検討していきたい。

玉城 社会福祉のまちづくりの一環として大変すばらしいものができると思う。

消防長 本定例会に糸満市職員定数条例の一部を改正する条例が提案されている。増大する救急出場により、日常的に発令される非常招集の解消を図るために、消防職員の定数を51人から58人に増員するものである。増員計画については、今年度は前倒し採用4人と増員4人で8人、次年度は残る増員分3人を採用する計画である。



市民の安心、安全に向けて

握できていない状況である。②現在のところ市民から相談があった場合、防災対策や生活環境の観点から現場確認や家屋調査等を行い、所有者が判明した場合は危険排除の対策や改善について要請をしていく。今後は、空家等対策の推進に関する特別措置法が5月26日に全面施行され、それに伴い、関係法令の整備や空き家対策計画の策定等を行い、



過疎化対策が必要な三和地域

①本市の空き家の実数と現状について。②空き家対策について。③三和地域は過疎化が著しく、住民にとって交通の利便性や生活するのに厳しい地域である。人口も減少傾向が見られるが、市当局の見解について。④過疎化対策をどのように考えているか。

市民健康部長 ①全体的に把握できていない状況である。

空き家及び過疎化対策について



国吉 武光 議員

適正な空き家対策に努めてみたい。

福祉部長 ③平成27年6月現在、住民基本台帳より施設入居者を除いた糸満市の高齢化率は17・5％で、三和地域は29・4％である。高齢化率は高くなっており、高齢者対策の検討が必要と考えている。

経済観光部長 ④農業振興地域整備計画の総合見直しにおいて、白地面積の拡大により、集落の形成を図るとともに、都市計画法に基づく自己用住宅の立地緩和区域を指定し、許可要件を緩和することで過疎化対策に取り組んでいる。

消防職員の増員について



伊敷 幸昌 議員

消防の救急出場及び非常招集が毎年増加の傾向である。非常招集とは大災害が発生したときのように、非常事態に陥った際に仕方なく用いる方法であるが、職員が少ないため常に非常招集で対応している状況である。そこで何う職員を増員する必要があるか、増員計画はあるか。

消防長 本定例会に糸満市職員定数条例の一部を改正する条例が提案されている。増大する救急出場により、日常的に発令される非常招集の解消を図るために、消防職員の定数を51人から58人に増員するものである。増員計画については、今年度は前倒し採用4人と増員4人で8人、次年度は残る増員分3人を採用する計画である。

伊敷 7人増員するどのような体制になるか。

消防長 非常招集の低減化には、当直勤務を12人体制から15人体制にする必要があるが、3交替制なので9人の職員が必要となる。そのため、日勤職員2人を当直勤務へ異動させることにより、増員分とあわせて15人体制が可能となる。それにより約80％の非常招集の低減化が図られ、市民の安心、安全につながるものと考えている。

伊敷 豊見城市消防との広域化も念頭にあるか。

消防長 消防広域化は必要であると認識しており、一部事務組合による広域化ができればいい意見交換を始めたところである。



新垣 新 議員

糸満市の経済について

①名城ビーチホテルリゾートの進捗状況と市道等の拡幅整備はどうなっているか。②ボウリング場跡地への1丁センター建設の進捗状況は。

企画開発部長 ①開発事業者は県と事前協議を行っている。順調に進捗した場合、平成28年3月に着工し、平成29年9月に工事完了、営業開始に伴う諸準備を行い、平成30年初旬にグランドオープンを予定しているとのことである。

建設部長 ①リゾート開発区域の東側に隣接して、県整備による平和の道線が予定されている。名城ビーチホテルのアクセス道路として位置づけられることから、特に市道等の拡幅整備は予定していない。

総務部長 ②ハーレー行事実行委員会からの要望として、ハーレーの日の工事の休止、ボウリング場跡地の西側及び南側駐車場の借用、そして住民の立ち入りを制限してもらいたいとの申し出があった。業者としては、工事を途中で中断するとかえって市民に危険が及ぶおそれがあるということから、ハーレー後に解体を実施したいとのことである。

新垣 名城ビーチホテルに隣接する平和の道線が順調に動くか確認をする。

建設部長 用地交渉の進捗状況については、喜屋武真栄里区間が42・3％、前年度より進んでいる状況である。

新垣 これから地域や開発業者から陳情等が上がってくると思う。できる限りのサポートをお願いしたい。



開発計画のある名城ビーチ

①温泉開発について豊見城市に先を越されてしまったが、市長の心境を伺う。②医療費削減のために温泉開発は必要な事業であることを市は認めている。事業に踏み切るかどうか判断するために、市民ニーズ調査を行う必要があると思うが、その考えはないか。

市長 ①本市は、市政運営の基本となる第4次糸満市総合計画に温泉開発の取り組みを掲げていない。温泉開発に関する市政運営のスタンスに違いがあると認識している。

企画開発部長 ②現在温泉開発に対する民間企業の動きがなく、温泉運営等に関する基本スタンス等も確認できない状況において、調



第4次糸満市総合計画

温泉開発について



西平 賀雄 議員

査を実施する考えはない。

西平 本日に市民のことを考えた場合、市民の健康を優先すべきなのか、市民会館を含む施設を優先すべきなのか市長の考えを伺う。

市長 温泉開発については民間をベースに考えていきたい。市民会館を含む施設については、これまでの経緯から、建設費の捻出ができず、断念した経緯がある。したがって、非常に大きな課題だと認識している。

西平 温泉開発について非常に消極的だと思う。企業を誘致するために、いろんな方策を考えて、いつ企業が来ても対応できるように事前準備が必要だと思う。全く企業を誘致していないという考えを持っている。市民の健康についてはそんな考えはないという感じを受けた。

市営住宅の建設建てかえ計画について



玉城 安男 議員

第一市営住宅、浜川原市営住宅、真謝原市営住宅、親田原市営住宅の建設建てかえ計画について、進捗状況を伺う。

市長 4団地の建てかえに先立ち、各団地の入居者の仮住居を確保するため、(仮称)稲嶺原市営住宅の建設を進めている。建設工事については、平成28年度から2カ年の予定で実施できるより県と調整している。その建設工事を皮切りに第一市営住宅から順次建てかえを進めていきたい。

玉城 整備方針、設計内容について、防災、避難面でのどのような計画をしているか。また当該団地の集会所は基本設計の段階から盛り込んでいないか。

建設部長 整備方針として、全戸バリアフリー化を原則としている。防災、避難面に配

